



Vostro 7590


セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 - 2019 Dell Inc. その関連会社。 All rights reserved. Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 コンピュータのセットアップ	5
2 シャーシの概要	7
ディスプレイビュー.....	7
左面図.....	8
右面図.....	8
パームレストの図.....	9
底面図.....	10
キーボードのショートカット.....	10
3 技術仕様	12
システム情報.....	12
プロセッサ.....	12
メモリ.....	12
ストレージ.....	13
システム基板のコネクタ.....	13
メディアカードリーダー.....	13
オーディオ.....	14
ビデオカード.....	14
カメラ.....	14
ポートとコネクタ.....	15
ワイヤレス.....	15
ディスプレイ.....	15
キーボード.....	16
タッチパッド.....	16
オペレーティングシステム.....	16
バッテリー.....	16
電源アダプタ.....	17
寸法と重量.....	18
コンピュータ環境.....	18
セキュリティ.....	18
セキュリティソフトウェア.....	19
4 ソフトウェア	20
Windows ドライバのダウンロード.....	20
5 セットアップユーティリティ	21
ブートメニュー.....	21
ナビゲーションキー.....	21
起動順序.....	22
セットアップユーティリティのオプション.....	22
一般オプション.....	22
システム設定.....	23
ビデオ画面のオプション.....	25

セキュリティ.....	25
Secure Boot (安全起動)	27
Intel Software Guard Extensions のオプション	27
パフォーマンス.....	28
電力管理.....	28
POST 動作.....	29
Virtualization Support (仮想化サポート)	30
ワイヤレスオプション	31
メンテナンス.....	31
システムログ.....	31
SupportAssist システムの解決策.....	32
Windows での BIOS のアップデート	32
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	32
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート	33
Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート.....	33
F12 ワン タイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ	33
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	36
システムパスワードまたはセットアップパスワードの割り当て.....	36
既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更.....	37
6 ヘルプ.....	38
デルへのお問い合わせ.....	38

コンピュータのセットアップ

1. 電源アダプタを接続して、電源ボタンを押します。



- ① **メモ:** バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。電源アダプタを接続し、電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
- ① **メモ:** コンピューターの電源を初めてオンにしてセットアップすると、その後は閉じ位置からディスプレイを開くだけでコンピューターをオンにすることができます。

2. オペレーティングシステムのセットアップを終了します。

Ubuntu の場合：


画面の指示に従ってセットアップを完了します。Ubuntu のインストールと設定の詳細については、www.dell.com/support で、ナレッジベースの記事 [SLN151664](#) および [SLN151748](#) を参照してください。

Windows の場合：画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。

- ・ ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
- ① **メモ:** セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- ・ インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- ・ Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。

3. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける

Dell アプリ	詳細
	マイデルダウンロード 主な Dell アプリケーション、ヘルプ記事、お使いのコンピューターに関するその他の重要な情報を一元的に表示します。また、保証のステータス、推奨されるアクセサリ、およびソフトウェア アップデート (使用可能な場合) についても通知します。

**Dell 製品の登録**


デルに、お使いのコンピュータを登録します。

**Dell ヘルプとサポート**

コンピュータのヘルプとサポートにアクセスします。

**SupportAssist**

コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。

 **メモ:** SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。

**Dell アップデート**

重要な修正プログラムおよびデバイスドライバが提供された場合に、お使いのコンピューターを更新します。

**Dell Digital Delivery**

さまざまなソフトウェアアプリケーション（購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアなど）を、お使いのコンピューターにダウンロードします。

シャーシの概要

トピック：

- ・ ディスプレイビュー
- ・ 左面図
- ・ 右面図
- ・ パームレストの図
- ・ 底面図
- ・ キーボードのショートカット

ディスプレイビュー

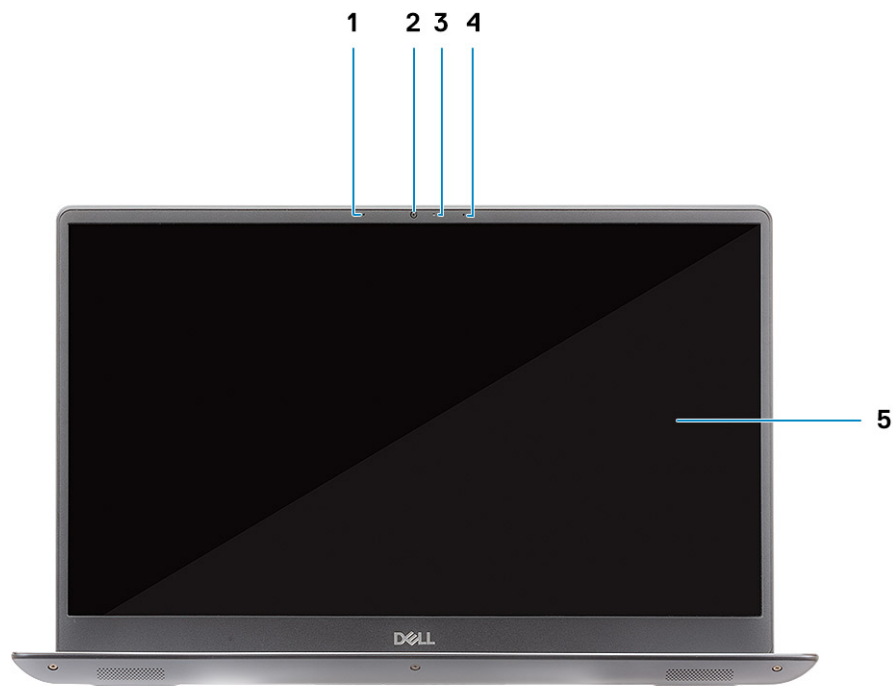


図 1. ディスプレイビュー

1. マイク
2. カメラ
3. カメラステータススライド
4. マイク
5. ディスプレイ

左面図



図 2. 左面図

- ・ 電源アダプタポート
- ・ HDMI 2.0 ポート
- ・ USB 3.1 Gen 1 ポート
- ・ Thunderbolt 3 (USB Type-C) ポート

右面図



図 3. 右面図

1. microSD カードリーダー
2. USB 3.1 Gen 1
3. ユニバーサルオーディオジャック

パームレストの図



図 4. パームレストの図

1. 電源ボタン (オプションの指紋リーダー内蔵)
2. キーボード
3. タッチパッド

底面図



図 5. 底面図

- 1. スピーカー
- 2. サービスタグラベル
- 3. 通気孔

キーボードのショートカット

① **メモ:** キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	説明
Fn+Esc	Fn キーロックの切り替え
Fn+F1	消音
Fn+F2	音量を下げる
Fn+F3	音量を上げる
Fn+F4	再生/一時停止

キー	説明
Fn+F6	輝度を下げる
Fn+F7	輝度を上げる
Fn+F8	外部ディスプレイに切り替え
Fn+F10	プリントスクリーン
Fn+F11	ホーム
Fn+F12	終了

システム情報

表 3. システム情報

特長	仕様
チップセット	インテル Coffee Lake-H Refresh
DRAM バス速度	最 大 4 DDR4-2666 MHz
フラッシュ EPROM	SP1 BIOS ROM
PCIe バス	PCIe 3.0 (1) 985 MB/秒 (8 GT/秒)

プロセッサ

① **メモ:** プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 4. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス
第 9 世代インテル Core i5-9300H (45 W、最大 4.1 GHz、8 MB キャッシュ、4 コア、8 スレッド)	インテル UHD グラフィックス 630
第 9 世代インテル Core i7-9750H (45 W、最大 4.5 GHz、12 MB キャッシュ、6 コア、12 スレッド)	インテル UHD グラフィックス 630
第 9 世代インテル Core i9-9880H (45 W、最大 4.8 GHz、16 MB キャッシュ、8 コア、16 スレッド)	インテル UHD グラフィックス 630

メモリ

表 5. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	8 GB
最大メモリ構成	32 GB
スロット数	2 x SODIMM スロット
スロットごとにサポートされる最大メモリ	16 GB
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 GB ・ 16 GB ・ 32 GB

特長	仕様
サポートする構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 GB DDR4、2666 MHz (1×8 GB および 2×4 GB) ・ 16 GB DDR4、2666 MHz (2×8 GB) ・ 32 GB DDR4、2666 MHz (2×16 GB)
タイプ	デュアルチャネル DDR4
速度	2666 MHz

ストレージ

お使いのコンピューターでは、以下のいずれかの構成がサポートされています。

- ・ 2.5 インチ ハードディスク ドライブ (1)
- ・ M.2 2230/2280 ソリッドステート ドライブ (SSD) (1)
- ・ 2.5 インチ ハードドライブ (1) および M.2 2230/2280 ソリッドステート ドライブ (SSD) (1)
- ・ 2.5 インチ ハードドライブ (1) および M.2 2230/2280 インテル Optane ストレージ (1)

コンピューターのプライマリ ドライブは、ストレージ構成により異なります。M.2 ドライブ搭載のコンピューターでは、M.2 ドライブがプライマリ ドライブです。

表 6. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	容量
2.5 インチ ハードディスク ドライブ (1)	2.5 インチ	SATA AHCI、最大 6 Gbps	最大 2 TB
M.2 2230/2280 ソリッドステート ドライブ (1)	M.2	PCIe Gen 3.0x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 512 GB
M.2 2230/2280 インテル Optane ストレージ (1)	M.2	PCIe Gen 3.0x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 512 GB

システム基板のコネクタ

表 7. システム基板のコネクタ

特長	仕様
M.2 コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1× WLAN 用 M.2 2230 スロット ・ 1× ソリッドステート ドライブ/インテル Optane 用 M.2 2280/2230/2242 スロット ・ 1× PCI-E SSD 用 M.2 2280 スロット

メディアカードリーダー

表 8. メディアカードリーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	SD カードスロット (1)
サポートされているカード	Micro Secure Digital (mSD)

オーディオ

表 9. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Realtek ALC3254
タイプ	HD オーディオ
スピーカー	ステレオ 2.0
インタフェース	<ul style="list-style-type: none">ユニバーサルオーディオジャックステレオ ヘッドフォンステレオ ヘッドセット (CTIA および OMTP)ステレオ ライン入力/ライン出力マイク入力3 ボタン ヘッドセットのインライン制御サポートMicrosoft Windows および Google 準拠
アンプ内蔵スピーカー	2 W (RMS) / チャンネル

ビデオカード

表 10. ビデオカードの仕様

コントローラ	タイプ	グラフィックスメモリータイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル UHD グラフィックス 630	UMA	第 9 世代インテル Core i5/i7/i9	共有システムメモリ	HDMI 2.0	4096 x 2160
NVIDIA GeForce GTX 1050	ディスクリート	GDDR5	3 GB	NA	NA
NVIDIA GeForce GTX 1650	ディスクリート	GDDR5	4 GB	NA	NA

カメラ

表 11. カメラの仕様

特長	仕様
カメラの数	1 回
場所	前面カメラ
解像度	<ul style="list-style-type: none">静止画像 : 0.92 メガピクセル動画 : 1280 x 720 (HD) (30 fps において)
対角視野角	74.9 度
タイプ	HD RGB カメラ
センサーのタイプ	CMOS センサーテクノロジー

ポートとコネクタ

表 12. ポートとコネクタ

特長	仕様
メモリカードリーダー	SD カードスロット (1)
USB	・ USB 3.1 Gen 1 ポート (3) ・ Thunderbolt 3</Z2>
セキュリティ	該当なし
ドッキングポート	非対応
オーディオ	ヘッドセット (ヘッドフォンとマイクのコンボ) ポート (1)
電源アダプターポート	1 x 4.5 mm x 2.9 mm DC 入力
ビデオ	HDMI 2.0
ネットワークアダプター	該当なし
SIM カードリーダー	該当なし

ワイヤレス

表 13. ワイヤレスオプション

ワイヤレスオプション

インテル Wireless-AC 9560、802.11ac + Bluetooth 5.0

Dell Qualcomm QCA61x4A、802.11ac

ディスプレイ

表 14. ディスプレイの仕様

特長	仕様	
タイプ	FHD (フルハイデフィニション)	UHD (ウルトラハイデフィニション)
高さ (アクティブエリア)	350.70 mm (13.81 インチ)	350.70 mm (13.81 インチ)
幅 (アクティブエリア)	205.70 mm (8.10 インチ)	205.70 mm (8.10 インチ)
対角線	394 mm (15.51 インチ)	394 mm (15.51 インチ)
ネイティブ解像度	1920 x 1080 (フルHD、非タッチ)	3840 x 2160 (UHD、非タッチ)
明るさ/輝度 (標準)	300 ニット	400 ニット
リフレッシュレート	60 Hz	60 Hz
水平可視角度 (最小)	80/80 +/- 度	80/80 +/- 度
垂直可視角度 (最小)	80/80 +/- 度	80/80 +/- 度
色域	72% (NTSC)	100% (Adobe)

特長	仕様	
コントラスト率	600:1	800 : 1
ピクセルピッチ	0.17925 mm	0.08964 mm
非光沢 vs 光沢仕上げ	非光沢	非光沢
Touch のオプション	非対応	非対応

キーボード

表 15. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国 : 101 ・ 英国 : 102 ・ 日本 : 105
サイズ	フル サイズ <ul style="list-style-type: none"> ・ X= 331.20 mm ・ Y= 106.60 mm
バックライト付きキーボード	有
レイアウト	QWERTY

タッチパッド

表 16. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水平方向 : 3211 ・ 垂直方向 : 2431
寸法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅 : 105 mm (4.13 インチ) ・ 高さ : 80 mm (3.14 インチ)
マルチタッチ	10 本指対応

オペレーティングシステム

表 17. オペレーティングシステム

対応オペレーティングシステム

サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 10 Home (64 ビット) ・ Windows 10 Professional (64 ビット) ・ Ubuntu
-----------------------	--

バッテリー

表 18. バッテリーの仕様

特長	仕様
タイプ	3 セル リチウムイオン (56 WHr) 6 セル リチウムイオン (97 WHr)

特長	仕様	
寸法	<ul style="list-style-type: none"> 幅：72 mm (2.835 インチ) 高さ：223.4 mm (8.795 インチ) 奥行：7.2 mm (0.283 インチ) 	<ul style="list-style-type: none"> 幅：72 mm (2.835 インチ) 高さ：330.7 mm (13.02 インチ) 奥行：7.2 mm (0.283 インチ)
重量 (最大)	0.245 kg (0.54 ポンド)	0.367 kg (0.82 ポンド)
電圧	11.40 VDC	11.40 VDC
寿命	300 回の放電/再充電	300 回の放電/再充電
コンピュータ非起動時の充電時間 (概算)	4 時間 ① メモ: Dell Power Manger アプリケーション を使用して、充電時間、持続時間、開始時刻と終了時刻などを制御します。	4 時間 ① メモ: Dell Power Manger アプリケーション を使用して、充電時間、持続時間、開始時刻と終了時刻などを制御します。
動作時間	動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。	動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。
温度範囲：動作時	0 ~ 70°C (32 ~ 158°F)	0 ~ 70°C (32 ~ 158°F)
温度範囲：保管時	放電：-20°C ~ 65°C (-4°F ~ 149°F)	放電：-20°C ~ 65°C (-4°F ~ 149°F)
コイン型電池	CR2032	CR2032

電源アダプタ

表 19. 電源アダプタの仕様

特長	仕様	
タイプ	E90W	E130W
直径 (コネクタ)	4.5 mm x 2.9 mm	4.5 mm x 2.9 mm
入力電圧	100 VAC ~ 240 VAC	100 VAC ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	1.5 A	2.5 A
入力周波数	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz
出力電流	4.62 A	6.7 A (連続)
定格出力電圧	19.5 VDC	19.5 VDC
重量	0.33 kg (0.72 ポンド)	0.52 kg (1.14 ポンド)
寸法	32 x 52 x 128 mm (1.3 x 2.0 x 5.0 インチ)	25.1 x 76.2 x 154.7 mm (1.0 x 3.0 x 6.1 インチ)
温度範囲 (動作時)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
温度範囲 (非動作時)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

寸法と重量

表 20. 寸法と重量

特長	仕様
高さ	前面の高さ - 18 mm (0.70 インチ) 背面の高さ - 20 mm (0.78 インチ)
幅	358 mm (14.09 インチ)
奥行き	240 mm (9.44 インチ)
重量 (最大)	1.9 kg (4.18 lb) ① メモ: コンピューターの重量は、発注時の構成や製造上の条件により異なる場合があります。

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 21. コンピュータ環境

	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65 °C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 80% (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 26°C	10 ~ 95 % (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 33°C
振動 (最大)	0.26 GRMS	1.37 GRMS
衝撃 (最大)	105 G †	40 G ‡
高度 (最大)	-15.2 m ~ 3048 m (-50 フィート ~ 10,000 フィート)	-15.2 m ~ 10,668 m (-50 フィート ~ 35,000 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セキュリティ

表 22. セキュリティ

特長	仕様
TPM (Trusted Platform Module) 2.0	対応
Firmware TPM	対応
Windows Hello のサポート	対応
指紋認証リーダー (電源ボタン上)	オプション

セキュリティ ソフトウェア

表 23. セキュリティ ソフトウェア

特長	仕様
インテル セキュリティ ソリューション ・ インテル パワー・オプティマイザー (CPPM) ・ Intel Rapid Start Technology ・ Active Resume BIOS アップデート ・ Identity Protection Technology 2012 (IPT) ・ Intel Smart Sound Technology ・ インテル vPRO テクノロジー	対応
Windows Hardware Quality Labs (WHQL) 準拠	有
Energy Star 準拠	有

ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- Windows ドライバのダウンロード

Windows ドライバのダウンロード

1. タブレットデスクトップノートブックの電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、お使いのタブレットデスクトップノートブックのサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。
① **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのタブレットデスクトップノートブックのモデルを手動で参照してください。
4. **Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード)** をクリックします。
5. お使いのタブレットデスクトップノートブックにインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバを選択してインストールします。
7. **Download File** をクリックして、お使いのタブレットデスクトップノートブックのドライバをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

セットアップユーティリティ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピューターが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- ・ RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- ・ システム設定情報の変更。
- ・ ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック :

- ・ ブートメニュー
- ・ ナビゲーションキー
- ・ 起動順序
- ・ セットアップユーティリティのオプション
- ・ Windows での BIOS のアップデート
- ・ システムパスワードおよびセットアップパスワード

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワнтаイム ブートメニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

オプションは次のとおりです。

- ・ **UEFI Boot :**
 - ・ Windows Boot Manager
- ・ **Other Options :**
 - ・ BIOS セットアップ
 - ・ デバイス構成
 - ・ BIOS Flash Update
 - ・ 診断
 - ・ SupportAssist OS Recovery
 - ・ Exit Boot Menu and Continue

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。

キー	ナビゲーション
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

起動順序

起動順序を利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス（例：オプティカルドライブまたはハードドライブ）から直接起動することができます。パワーオンセルフテスト（POST）中にデルのロゴが表示されたら、以下の操作が可能です。

- ・ <F2> を押してセットアップユーティリティにアクセスする
- ・ <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- ・ リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- ・ STXXXX ドライブ
 - ① **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- ・ オプティカルドライブ (利用可能な場合)
- ・ SATA ハードドライブ (利用可能な場合)
- ・ 診断
 - ① **メモ:** Diagnostics (診断) を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。

起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

- ① **メモ:** お使いのタブレットコンピューターノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション


表 24. 一般オプション

オプション	説明
システム情報	このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ システム情報 ・ メモリ構成 ・ プロセッサ情報 ・ デバイス情報
Battery Information	バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプタの種類を表示します。

オプション	説明
Boot Sequence (起動順序)	<p>コンピュータによるオペレーティングシステムの検索順序を変更できます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Boot Manager - [Windows Boot Manager] オプションを有効または無効にします。 ・ Boot List Option - ブート オプションを追加、削除、表示することができます。
詳細起動オプション	[UEFI Network Stack] オプションを有効または無効にします。
UEFI Boot Path Security	<p>UEFI 起動パスを起動する際に、システムからユーザーに管理者パスワードの入力を求めるどうかを制御できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Always, Except Internal HDD - デフォルト ・ Always (常に) ・ なし
Date/Time	日付と時間を設定することができます。システム日時の変更はすぐに反映されます。

システム設定

表 25. システム構成オプション

オプション	説明
SATA Operation	<p>統合 SATA ハードドライブ コントローラーの動作モードを設定することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Disabled (無効) ・ AHCI ・ RAID On — デフォルトでは、[RAID On] オプションは有効に設定されています。 <p> メモ: RAID モードをサポートするには SATA を設定します。</p>
Drives	<p>各種オンボード ドライブを有効または無効に設定することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SATA-0 ・ SATA-1 ・ M.2 PCIe SSD-0 ・ M.2 PCIe SSD-1 <p>デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。</p>
SMART Reporting	<p>このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis And Reporting Technology) 仕様の一部です。デフォルトでは、Enable SMART Reporting オプションは無効に設定されています。</p>

オプション	説明
USB 設定	<p>内蔵 USB 設定の有効/無効を切り替えることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) ・ Enable External USB Port <p>デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。</p> <p>① メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
Thunderbolt アダプタ設定	<p>オペレーティングシステムで、Thunderbolt アダプターセキュリティ設定を行うことができます</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Thunderbolt — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ・ Enable Thunderbolt Support ・ Enable Thunderbolt (and PCIe behind TBT) Pre-boot Modules ・ No Security (セキュリティなし) ・ User Authorization — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ・ Secure Connect (セキュアな接続) ・ Display Port and USB Only
Thunderbolt Auto Switch	<p>Thunderbolt コントローラーが PCIe デバイス エNUMERATION に使用する方式を設定できます。デフォルトでは、Auto switch オプションは有効に設定されています。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Native Enumeration ・ BIOS Assist Enumeration
オーディオ	<p>内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。デフォルトでは Enable Audio (オーディオを有効にする) オプションが選択されています。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable Microphone (マイクを有効にする) ・ Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) <p>デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。</p>
指紋リーダー	<p>指紋認証リーダー デバイスを有効または無効にします。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable Fingerprint Reader Device ・ Enable Finger Reader Single Sign On <p>デフォルトでは、両方のオプションが有効に設定されています。</p>

オプション	説明
Miscellaneous devices	<p>次のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable Camera ・ Enable Hard Drive Free Fall Protection (ハードドライブ落下保護を有効にする) ・ WiFi Radio ・ Enable Secure Digital(SD) Card <p>デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。</p>

ビデオ画面のオプション


表 26. ビデオ

オプション	説明
LCD Brightness	電源に応じて、ディスプレイの輝度を設定できます。デフォルトでは、バッテリーの輝度は 50% で、AC の輝度は 100% です。

セキュリティ

表 27. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	<p>管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enter the old password: ・ Enter the new password: ・ Confirm new password: <p>パスワードを設定したら、OK をクリックします。</p> <p>① メモ: デフォルトでは、Enter the old password フィールドは Not set としてマークされています。したがって、最初のログイン時にパスワードを設定する必要があります。その後、パスワードを変更または削除することができます。</p>
System Password	<p>システムパスワードを設定、変更、または削除できます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enter the old password: ・ Enter the new password: ・ Confirm new password: <p>パスワードを設定したら、OK をクリックします。</p> <p>① メモ: デフォルトでは、Enter the old password フィールドは Not set としてマークされています。したがって、最初のログイン時にパスワードを設定する必要があります。その後、パスワードを変更または削除することができます。</p>
Strong Password	<p>常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable Strong Password <p>このオプションはデフォルトでは無効になっています。</p>
Password Configuration	パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。

オプション	説明
Password Bypass	これを設定すると、システムの再起動時にシステムパスワードと内蔵HDDパスワードの入力をバイパスすることができます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Disabled — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ・ Reboot bypass (再起動のスキップ)
Password Change	Administrator パスワードが設定されている場合、システムパスワードを変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Allow Non-Admin Password Changes このオプションはデフォルトで有効になっています。
Non-Admin Setup Changes	Administrator パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは管理者パスワードによってロックされます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Allow Wireless Switch Changes このオプションはデフォルトでは無効になっています。
UEFI Capsule Firmware Updates	システム BIOS を UEFI カプセル アップデート パッケージでアップデートすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable UEFI Capsule Firmware Updates このオプションはデフォルトで有効になっています。
TPM 2.0 Security	POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効または無効にすることができます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ TPM On — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ・ Clear (クリア) ・ 有効なコマンドの PPI をスキップ ・ PPI Bypass for Disable Commands ・ PPI Bypass for Clear Command ・ Attestation Enable — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ・ Key Storage Enable — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ・ SHA-256 — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Absolute®	このフィールドでは、オプションの Absolute® Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれかに設定することができます。
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする) このオプションはデフォルトでは無効になっています。
Master Password Lockout	マスターパスワードのサポートを無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable Master Password Lockout このオプションはデフォルトでは無効になっています。  メモ: この設定を変更する前には、ハードディスクパスワードをクリアする必要があります。
SMM Security Mitigation	UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ SMM Security Mitigation このオプションはデフォルトで有効になっています。

Secure Boot (安全起動)

表 28. 安全起動

オプション	説明
Secure Boot Enable	Secure Boot 機能を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none">・ Secure Boot Enable — デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。
Secure Boot Mode	Secure Boot 操作モードを変更すると、Secure Boot の動作が変更され、UEFI ドライバ署名の評価ができるようになります。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・ Deployed Mode — デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。・ Audit Mode
Expert Key Management	Expert Key Management を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none">・ Enable Custom Mode — デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。 Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・ PK — デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。・ KEK・ db・ dbx

Intel Software Guard Extensions のオプション

表 29. インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
Intel SGX Enable	このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none">・ Disabled (無効)・ 有効・ Software controlled (デフォルト)
Enclave Memory Size	このオプションで、 SGX Enclave Reserve Memory Size を設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none">・ 32 MB・ 64 MB・ 128 MB (デフォルト)

パフォーマンス

表 30. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	<p>このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ All — デフォルト・ 1・ 2・ 3
Intel SpeedStep	<p>プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする) <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
C-States Control	<p>プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ C States <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
Intel® TurboBoost™	<p>このオプションでは、プロセッサのインテル® TurboBoost™モードを有効または無効にします。</p>
Hyper-Thread Control	<p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Disabled (無効)・ Enabled — デフォルト

電力管理

表 31. 電源管理

オプション	説明
Lid Switch	<p>Lid スイッチを無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Enable Lid Switch — デフォルトで有効・ Power On Lid Open - デフォルトで有効
AC Behavior	<p>AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Wake on AC (ウェイクオン AC) <p>このオプションはデフォルトでは無効になっています。</p>
Enable Intel Speed Shift technology	<p>[Intel Speed Shift Technology] オプションを有効または無効にすることができます。このオプションはデフォルトで有効になっています。</p>

オプション	説明
Auto On Time	<p>コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Disabled — デフォルトで有効 ・ Every Day (毎日) ・ Weekdays (平日) ・ Select Days (選択した日)
USB Wake Support	<p>USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。デフォルトでは、Enable USB Wake Support オプションは無効に設定されています。</p>
Block Sleep	<p>このオプションでは、オペレーティング システムの環境でスリープに入ることを防ぐことができます。デフォルトでは、Block Sleep オプションは無効に設定されています。</p>
Advanced Battery Charge Configuration	<p>このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすると、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。デフォルトでは、Enable Advanced Battery Charge Mode オプションは無効に設定されています。</p>
Primary Battery Charge Configuration	<p>バッテリーの充電モードを選択することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Adaptive — デフォルトで有効 ・ Standard (標準) ・ ExpressCharge ・ Primarily AC use (主に AC を使用) ・ カスタム <p>Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p>📌 メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。</p>
Type-C Connector Power	<p>Type-C コネクタから得られる最大電力を設定することができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [7.5 Watts] - デフォルトで有効 ・ 15 ワット

POST 動作

表 32. POST 動作

オプション	説明
Adapter Warnings	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable Adapter Warnings — デフォルトで有効
Keypad (Embedded) (キーパッド (内蔵))	<p>内蔵キーボードに組み込まれているキーボードを有効にする 2 つの方法のうち、1 つを選択することができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Fn Key Only — デフォルトで有効 ・ By Numlock
Numlock Enable	<p>システムの起動時に Numlock 機能の有効、無効を切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enable Numlock — デフォルトで有効

オプション	説明
Fn Lock Options	<p>ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。デフォルトでは、Fn Lock オプションは有効に設定されています。</p> <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロックモード無効/標準 ・ Lock Mode Enable/Secondary - デフォルトで有効
Fastboot	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。</p> <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Minimal — デフォルトで有効 ・ Thorough (完全) ・ 自動
Extended BIOS POST Time	<p>プレブート遅延を追加で作成できます。</p> <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0 seconds — デフォルトで有効 ・ 5 秒 ・ 10 秒
Full Screen logo	<p>お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーンロゴを表示するかどうかを指定します。デフォルトでは、Enable Full Screen Logo オプションは無効に設定されています。</p>
Warnings and Errors	<p>停止/プロンプト/ユーザー入力の待機、警告の検出時には続行するがエラー時には一時停止、POST 処理中に警告またはエラーが検出されても続行、のいずれかのオプションを選択できます。</p> <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Prompt on Warnings and Errors — デフォルトで有効 ・ Continue on Warnings (警告検出でも続行) ・ Continue on Warnings and Errors (警告およびエラーの検出でも続行)

Virtualization Support (仮想化サポート)

表 33. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	<p>このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を Virtual Machine Monitor (VMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。デフォルトでは、Enable Intel Virtualization Technology オプションが有効に設定されています。</p>
VT for Direct I/O	<p>ダイレクト I/O 用に、インテル仮想化テクノロジーが提供する追加のハードウェア機能を Virtual Machine Monitor (VMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。デフォルトでは、Enable VT for Direct I/O オプションが有効に設定されています。</p>

ワイヤレスオプション

表 34. ワイヤレス

オプション	説明
Wireless Switch	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・ WLAN・ Bluetooth® すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
Wireless Device Enable	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・ WLAN・ Bluetooth® すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

メンテナンス

表 35. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	コンピュータのサービスタグを表示します。
Asset Tag	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
BIOS Downgrade	システム ファームウェアの以前のバージョンをフラッシュすることができます。 <ul style="list-style-type: none">・ Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する) このオプションは、デフォルトで設定されています。
Data Wipe	すべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去できます。 <ul style="list-style-type: none">・ Wipe on Next Boot このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
Bios Recovery	BIOS Recovery from Hard Drive - デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。 ハード ディスク ドライブまたは外部 USB キーのリカバリ ファイルから、破損した BIOS をリカバリできます。 BIOS Auto-Recovery - BIOS を自動的にリカバリできます。

システムログ

表 36. システムログ

オプション	説明
BIOS events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
Thermal Events	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
Power Events	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

SupportAssist システムの解決策

表 37. SupportAssist システムの解決策

オプション	説明
Auto OS Recovery Threshold	Auto OS Recovery Threshold セットアップ オプションでは、SupportAssist システム解決策コンソールおよび Dell OS Recovery Tool の自動起動フローを制御します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none">・ オフ・ 1・ 2 - デフォルトで有効・ 3
SupportAssist OS Recovery	SupportAssist OS リカバリを復元できます (デフォルトでは無効)。このオプションはデフォルトで有効になっています。

Windows での BIOS のアップデート

システム基板を交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (セットアップ ユーティリティ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、お使いのコンピューターのバッテリーがフル充電されていてコンセントに接続されていることを確認してください。

① メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. コンピュータを再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
 - ・ サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、**Submit (送信)** をクリックします。
 - ・ [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービスタグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。

① メモ: 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポート**ページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **ダウンロード方法を以下から選択**してください ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**Save (保存)** をクリックします。
12. **Run (実行)** をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

△ 注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリ キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリ キーが不明な場合は、データ消失の原因となったり、本来必要のないオペレーティングシステムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブータブル USB フラッシュドライブに保存します。

① **メモ:** ブータブル USB フラッシュドライブを使用する必要があります。詳細については、次の記事を参照してください。
<https://www.dell.com/support/article/sln143196/>

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブータブル USB フラッシュドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュロゴが表示されたら F12 を押して、ワンタイム ブートメニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、**USB Storage Device** を選択し、[Return] をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [Return] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデートユーティリティがロードされます。画面の手順に従います。

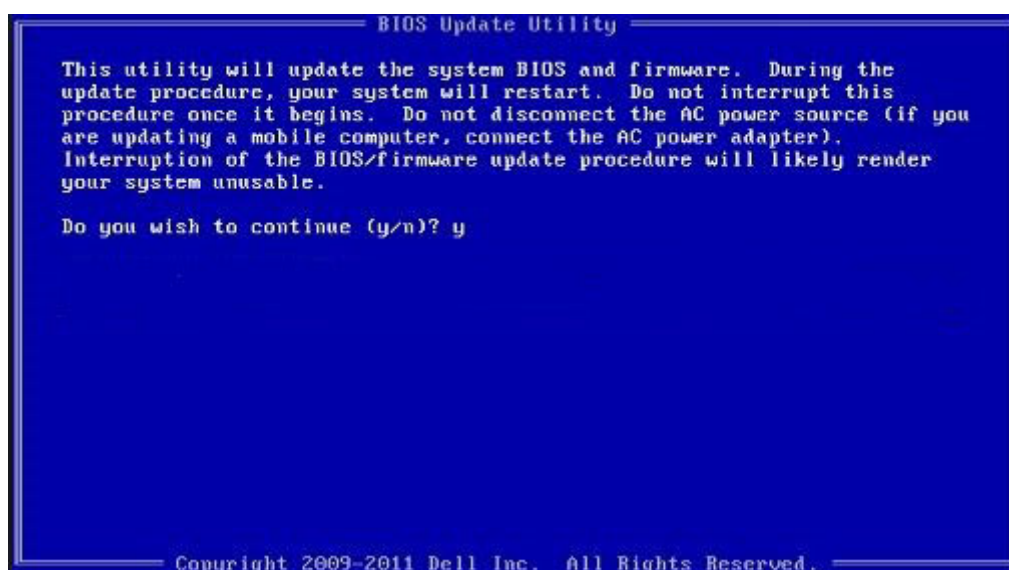


図 6. DOS の BIOS アップデート画面

Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート

Ubuntu などの Linux 環境でシステム BIOS をアップデートする場合は、<https://www.dell.com/support/article/sln171755/>を参照してください。

F12 ワンタイム ブートメニューからの BIOS のフラッシュ

FAT32 USB キーにコピーされた BIOS アップデート.exe ファイルを使用したシステム BIOS のアップデートと、F12 ワンタイム ブートメニューからのブート

BIOS のアップデート

ブータブル USB キーを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、システムの F12 ワンタイム ブートメニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどの Dell 製システムにはこの機能があり、システムを F12 ワンタイム ブートメニューで起動することにより、システムのブート オプションとして [BIOS FLASH UPDATE] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

① **メモ:** F12 ワンタイム ブートメニューに [BIOS Flash Update] オプションがあるシステムのみがこの機能を使用できます。

ワンタイム ブートメニューからのアップデート

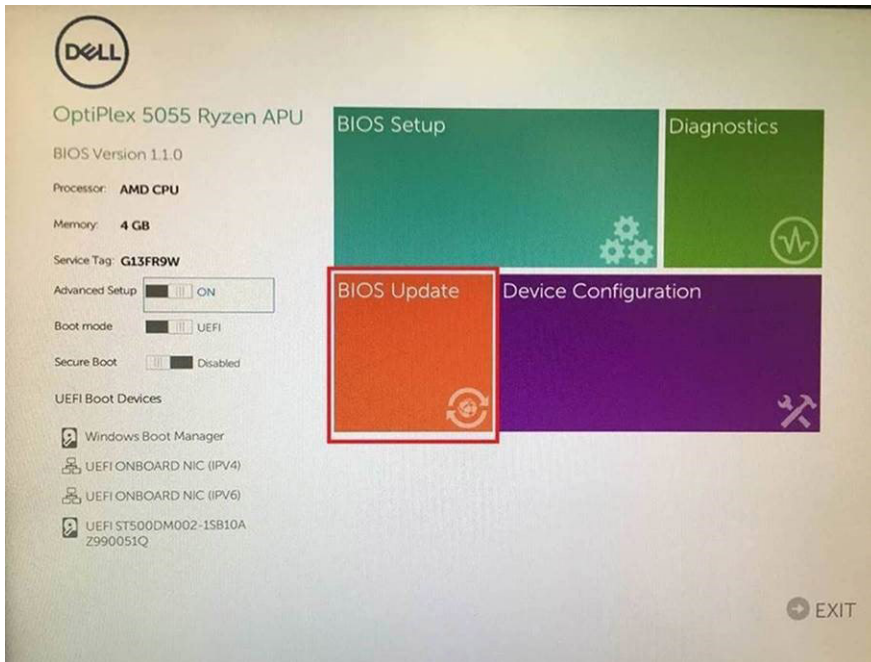
F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートするには、以下のものがが必要です。

- ・ FAT32 ファイル システムにフォーマットされた USB キー (キーはブータブルでなくてもよい)
- ・ デル サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB キーの root にコピーした BIOS 実行ファイル
- ・ システムに接続された AC 電源アダプタ
- ・ BIOS をフラッシュする動作可能なシステム バッテリ

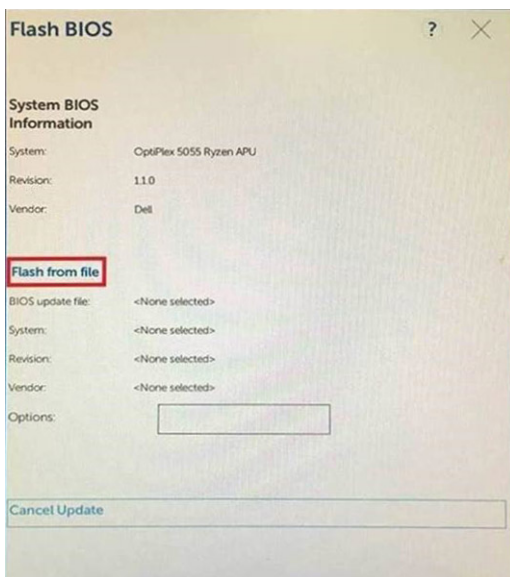
F12 メニューから BIOS アップデート フラッシュ プロセスを実行するには、次の手順を実行します。

注意: BIOS のアップデート プロセス中にシステムの電源をオフにしないでください。システムの電源をオフにすると、システムが起動しない可能性があります。

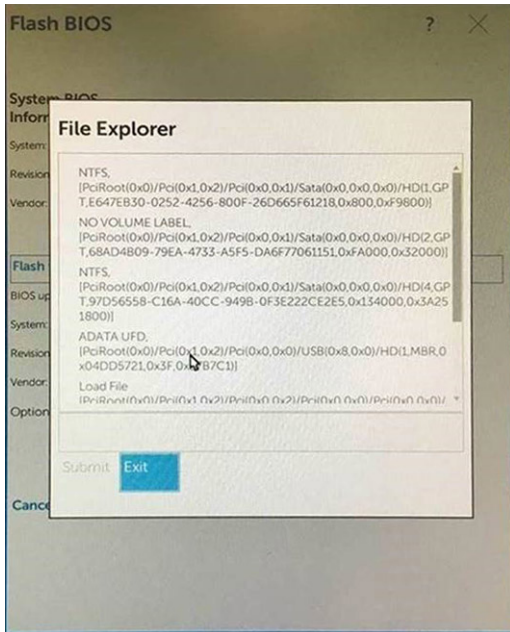
1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB キーをシステムの USB ポートに挿入します。
2. システムの電源をオンにし、F12 キーを押してワンタイム ブート メニューにアクセスし、マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS Update] をハイライト表示し、**Enter** を押します。



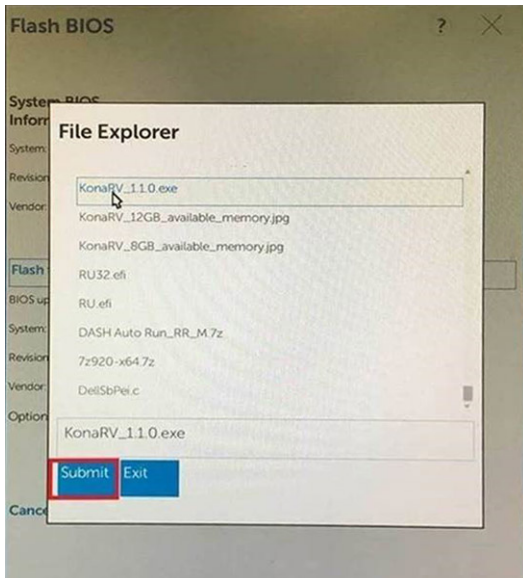
3. BIOS フラッシュ メニューが開いたら、[**Flash from file**] をクリックします。



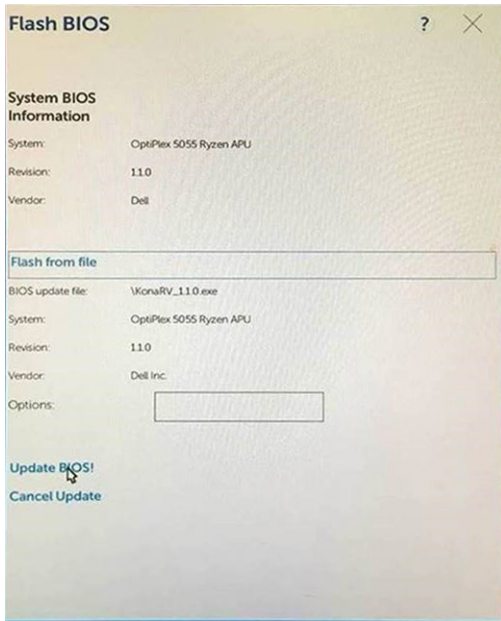
4. 外部 USB デバイスを選択します。



5. ファイルが選択されたら、フラッシュターゲットファイルをダブルクリックし、[Submit] を押します。



6. **Update BIOS** をクリックします。システムが再起動して BIOS をフラッシュします。



7. 完了するとシステムが再起動し、BIOS のアップデート プロセスが完了します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 38. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

△ 注意: パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△ 注意: コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

ⓘ メモ: システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システムパスワードまたはセットアップパスワードの割り当て

ステータスが [**Not Set**] の場合のみ、新しい [**System or Admin Password**] を割り当てることができます。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。


1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、セキュリティを選択し、<Enter> を押します。セキュリティ画面が表示されます。
2. [**System/Admin Password**] を選択し、[**Enter the new password**] フィールドでパスワードを作成します。以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - ・ パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - ・ 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - ・ 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - ・ 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、()、(+)、(,)、(-)、(.)、(/)、(;)、([]、(\)、()、(`)
3. 新しいパスワードの確認フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
4. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。

5. <Y> を押して変更を保存します。
コンピュータが再起動します。

既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードやセットアップパスワードを削除または変更する際は、パスワードステータスが(システムセットアップで)「ロック解除」になっていることを事前に確認してください。「**Password Status (パスワードステータス)**」が「Locked (ロック)」に設定されている場合は、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更できません。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、システムセキュリティを選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
 **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合は、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力します。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合は、プロンプトが表示されたら削除を確定します。
5. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しセットアップユーティリティを終了します。
コンピュータが再起動します。

トピック：

- ・ [デルへのお問い合わせ](#)

デルへのお問い合わせ

① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国/地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。